

小美玉の今を伝えるマガジン



ダイヤモンド
シティ
小美玉
を見つけろ。
みがく。光をあてる。

2020年
April

4

広報
おみ
たま
第169号

contents

[特集] 桜が教えてくれる過去・現在・未来	2-7
施政方針	8-9
わだい	14-17
インフォメーション	18-21
おみたまトピックス	22-26





大宮神社の
山桜



耳守神社の
山桜



悠遊農園たまり前の桜トンネル

霞ヶ浦を望むビュースポット「悠遊農園たまり」に向かうと、あざやかなピンクのトンネルが広がっていました。ヨウコウ(陽光)という園芸品種で、ソメイヨシノより1週間早く咲く桜です。

表紙撮影コーディネート

瀧澤比佐乃さん

特集撮影

- 齋藤友幸さん
- 坂野しげ子さん
- 坂野秀司さん
- 立原裕之さん
- 田村美穂子さん

取材

広報おみたま取材チーム

特集記事監修

坂野秀司さん

① 大宮神社(上玉里)のヤマザクラ ② 耳守神社(栗又四ヶ)のヤマザクラ

竹原神社の ウワ ミズ ザクラ 上溝桜



③



④



⑤

③ 竹原神社の桜の守り人（左から高田信利さん、大枝治夫さん、金子正志さん、大和田敬一さん）と坂野秀司さん

④⑤ 開花状態のウワミズザクラ。天皇陛下即位の礼の儀式で使われる木であり、ご神木として神社に植えられてきたと考えられている。

信仰と桜

お花見の起源は、山から神様を迎えて田植えをする農耕の儀式にあったとも言われています。奈良時代の書物「常陸国風土記」にも、当時の人々が筑波山でお花見をしたことが書かれています。

茨城県の神社には、ヤマザクラのご神木が多いことをご存知でしょうか。市内では大宮神社（上玉里）、耳守神社（栗又四ヶ）、石船神社（西郷地）、竹原神社などで古木を見ることがができます。これらは地域の人々の信仰とヤマザクラの関係を見ることができる貴重な場所です。

また、竹原神社にはウワミズザクラ（上溝桜）も植えられています。あまり知られていない品種ですが、県内でも有数の古木で、神社を守る竹原区の方々にとって地域の誇りとなっています。

古くから愛でられてきた天然品種、それがヤマザクラ、ウワミズザクラです。花の見頃はソメイヨシノよりも遅く、ヤマザクラはソメイヨシノの1週間後、ウワミズザクラはさらに1週間後が目安です。